

**岸和田市市制施行 100 周年記念事業 第 7 回実行委員会
会議録（概要）**

会 議 名	岸和田市市制施行 100 周年記念事業 第 7 回実行委員会
開 催 日 時	令和 4 年 10 月 18 日（火） 15 : 00～16 : 30
場 所	岸和田市役所新館 4 階第 1 委員会室
出 席 委 員	永野会長、中井副会長、西田副会長、小林委員（代理）、音揃委員、善野委員、井上委員、大西委員、泉本委員、笹部委員、寺内委員、羽室委員（代理）、中川委員、室田委員、竹代委員、池内委員、米田委員、平松委員、角野委員（代理）、笠松委員、横山委員、山原委員、湯浅委員、赤坂監事（代理）、閑陸監事 計 25 名
欠 席 委 員	久禮委員、七野委員、根来委員、今口委員、澁谷委員、宮口委員、松阪委員、田鍬委員 計 8 名
関 係 者	原部会長、北村氏（TSP 太陽株式会社大阪支店）、人見氏（アクティオ株式会社大阪支店）、中井氏（株式会社ジェイコムウエスト）、藤原氏（株式会社テレビ岸和田）
事 務 局	西川総合政策部長、貝口課長、高木担当長、前田主任、奥担当員
会 議 事 項	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開 会 報告第 19 号 実行委員の変更について 2. 議 事 議案第 14 号 冠事業の承認について 議案第 15 号 実行委員会事業の追加について 3. 報 告 報告第 20 号 事業部会の実施状況について 報告第 21 号 「岸和田城 EXPO～未来への想い TAKEAKARI～」について 報告第 22 号 「キッチンカーマルシェ賑わい創出事業～きしめしグランプリ～」について 4. その他 5. 閉 会
会 議 内 容	
事 務 局	<u>1. 開会</u> 岸和田市市制施行 100 周年記念事業第 7 回実行委員会を開会する。 本日の出席委員は 33 名中 25 名であり、岸和田市市制施行 100 周年記念事業実行委員

永野会長	<p>会規約第7条第3項に定める、委員の過半数の出席があるため、本会議が成立していることを報告する。</p> <p>会議の主宰を規約第7条第1項により、会長が務めることとなっているので、実行委員会会長である永野市長に司会進行をお願いする。</p> <p>100周年記念事業に関しては、今年の4月から記念事業期間とし、これまで数々の記念事業が実施されてきた。当初から100周年記念事業は、一過性で終わることなく、次年度以降も継続して実施できる事業や、普段はなかなか実施することができなかった事業を、100周年を機に実施したいと考え、取り組んできた。これまでも市民の皆様とともに、非常に良い事業が実施されてきたと感じている。11月1日には市制施行100周年記念日を迎え、記念式典も開催するため、一旦、一つのゴールを迎えるが、本当のゴールは令和5年3月末までやりきることであり、さらに、来年度以降より一層活力のある岸和田市になっていくことが本当のゴールであると思っている。そういった思いで、本実行委員会も頑張っていきたいと思っているため、引き続きご協力願いたい。</p> <p>会議事項に入る前に、実行委員に変更があるため、規約第6条第4項に基づき、報告する。</p>
事務局	<p>まちを美しくする市民運動推進協議会 会長が、桑畑様から笠松様に変更となった。</p>
	<p><u>2. 議事</u></p>
永野会長	<p>議案は2件。</p> <p>議案第14号について事務局より説明する。</p>
事務局	<p>「議案第14号「冠事業の承認について」」</p> <p>資料に基づき説明</p> <p>説明後、質疑応答</p>
委員一同	<p>質疑なし</p>
永野会長	<p>議案第14号「冠事業の承認について」お諮りする。承認いただける場合は拍手をお願いする。</p>
委員一同	<p>拍手</p>
永野会長	<p>議案第14号は承認された。</p> <p>続いて、議案第15号について、事務局より説明する。</p>

事務局	<p>≪議案第 15 号「実行委員会事業の追加について」≫</p> <p>資料に基づき説明 説明後、質疑応答</p>
委員一同	質疑なし
永野会長	議案第 15 号「実行委員会事業の追加について」お諮りする。承認いただける場合は拍手をお願いします。
委員一同	拍手
永野会長	議案第 15 号は承認された。
	<u>3. 報告</u>
永野会長	報告は 3 件。 事業部会の部会長であり、岸和田商工会議所の専務理事、原様にお越しいただいているので、部会長よりご説明いただく。
原部会長	前回の第 6 回実行委員会以降、事業部会については、1 回開催した。 主な議題としては、実行委員会事業である 2 事業について、それぞれの企画提案書に対して、事業部会員からご意見等を出し合い、それを委託事業者及び事務局に対してお伝えした。 詳細については、事務局から説明する。
事務局	<p>≪報告第 20 号「事業部会の実施状況について」≫</p> <p>資料に基づき説明 説明後、質疑応答</p>
委員一同	質疑なし
永野会長	続いて、報告第 21 号について、事務局より説明する。
事務局	≪報告第 21 号「岸和田城 EXPO～未来への想い TAKEAKARI～」≫

	資料に基づき説明 説明後、質疑応答
TSP 太陽	<p>岸和田市では、放置竹林の拡大が問題となっており、いかに再利用し、SDGs に結び付けることができるかということが課題となっていた。現在、岸和田市においては、ナツワークスという団体が竹の利活用といった活動に力を入れている。そういった団体と連携し、100 周年記念事業と一緒に盛り上げることができればという思いで事業を進めている。</p>
永野会長	<p>本事業において、岸和田のキャラクターカードを制作いただき、非常にありがたく思っている。そこで質問だが、このキャラクターカードについて、イベント終了後はどのように活用される予定か。</p>
TSP 太陽	<p>イベント終了後も、カードバトルゲームとして、子どもたちを中心に遊んでいただける仕組みとなっている。</p> <p>本カードは計 18 枚あり、2～5 名で遊べるものとなっている。プレイヤーは山札からカードを 3 枚取り、順にカードを 1 枚ずつ場に出していく。カード左上に記載の番号や色、効果など様々な要素が合わさり、勝敗を競う。1 ゲームにつき、3 回バトルを行い、最後のバトルで勝ったカードがそのゲームでの「岸和田のいいもの」ということになる。</p> <p>現在は計 18 枚であるが、今後キャラクターも追加できるような仕様になっているので、例えば、「彩萱®」や「クイーンオニオン」なども追加することが可能である。引き続き委員からもアイデア等いただきたい。</p>
永野会長	<p>素敵なゲームを考案いただいたので、まずは、本事業で周知し、本事業終了後も引き続き多くの方に遊んでいただきたいと思う。</p> <p>私からの提案であるが、例えば、「包近の桃」のレアカードとして「ギネスの桃」も追加したり、「しらすちりめん」のレアカードとして「生しらす」を追加したりするのもおもしろいと思う。他には、「明智光秀」があるので「岡部公」を追加するなど考えられる。委員の皆様にご覧いただき、アドバイスもいただきたい。また、実際にこのゲームに参加していただき、さらにブラッシュアップし、岸和田特有のカードゲームにしていき、子どもたちとともに楽しんでいきたい。</p> <p>続いて、報告第 22 号について、事務局より説明する。</p>
事務局及び ジェイコムエスト	<p>「報告第 22 号「キッチンカールシェ賑わい創出事業～きしめしグランプリ～について」」</p> <p>資料に基づき説明 説明後、質疑応答</p>

竹代委員	レシポの募集について、どのような手法で市民に周知・広報を図っていく予定か。前回の実行委員会でも話があったが、記念事業について、今一つ市民に周知されていない現状である。11月1日に向け、広く市民に知っていただきたいと考えているので、その点について、ご教示いただきたい。
事務局	現在、岸和田城 EXPO に関しては、子どもたちにご案内できればということで、本実行委員会にも所属いただいている、岸和田市立小学校長会・岸和田市立幼稚園長会 会長の寺内委員や岸和田市立中学校長会会長の池内委員にご相談させていただき、全小・中学校の児童・生徒にチラシを配付するという形で周知を図っていきたく考えている。また、株式会社テレビ岸和田様において、毎週金曜日 17 時から放送されている「ジモまる」内で本事業についても広報いただくなどご協力いただいている。周知には様々な方法があるが、我々も不得手の部分でもあるため、その他の手法についてアドバイス等あれば引き続きご教示いただきたい。
竹代委員	実行委員会という形式をとっているので、それぞれ自分の所属団体においても周知を図っていきたくと思う。
永野会長	実際、小学校及び中学校の校長会で説明後、全児童・生徒に配付することは可能か。
寺内委員	次回の小学校校長会は 11 月 4 日であり、タイミング的に遅くなってしまうので、今回は全小学校にメールにて周知し、その後、チラシを配付いただく形で話を進めている。
池内委員	中学校についても、100 周年記念事業については、可能な限り全校集会等で周知するようにと、これまで校長会において話し合ってきた。今回の件についても、小学校同様、メールにて周知し、その後、チラシを配付させていただく予定である。
永野会長	ご協力いただき感謝申し上げます。
井上委員	一点、岸和田城 EXPO について確認したい。 竹あかりの実施にあたっては、ファンタジーを創出していただきたいと思っており、これまでの実行委員会の会議においても、「竹あかり」と「岸和田のむかし話」をマッチングされたいと申し上げてきた。申し上げた当時は検討するという回答であったが、その後、どのように反映されたか教えていただきたい。
事務局	委員ご指摘のとおり、岸和田城 EXPO のプログラムには「岸和田のむかし話」という要素は取り込めていないのが実情である。一方で、100 周年記念事業は本事業以外にも市や民間が主体と

	<p>なっている事業が多々ある。その中で、「令和 岸和田風物百選 ～伝え継ぐ岸和田～」と題して、60周年記念事業として実施した「岸和田風物百選」から寄贈していただいた作品を展示し、過去と現在を比較するといった事業をマドカホールにて開催した。岸和田城 EXPO においては、井上委員の想いを反映することはできなかったが、100周年記念事業全体で考えたときには包含できていると考えているため、ご理解賜りたい。</p>
<p>笹部委員</p>	<p>使用する食材については、資料に記載のものを必ず一つ使用しないといけないという認識で良いか。開催時期を考えると、桃など収穫時期ではないものもあり、調達することが難しいものもあるかと思うが、その点はいかがか。</p> <p>また、岸和田城 EXPO についても、一点申し上げたい。</p> <p>永野会長も先ほどおっしゃられていた、キャラクターカードについて、私も非常に良い物を考えていただいていたと思っている。しかし、100周年記念事業だけに留まらず、「岸和田市内の小学生の遊び」というブランディング化につなげていただきたいと思っている。岸和田ならではの遊びがあるという風な形で今後も継続していただきたいと願っている。</p>
<p>事務局</p>	<p>使用する食材については、資料に記載のものの中から必ず一つ以上を使用しないといけないという条件を設けているが、食材の旬等もあるため、必ずしもすべてが開催時期に手に入るわけではないということを事務局も理解している。レシピコンテストのチラシ及び募集要項には、レシピを考案する際及び応募する際に使用する食材、例えば、「彩誉®」や「包近の桃」については、別品種で応募していただいて構わないという条件を設けている。また、加工品を使用することも可能という条件も付しているため、例えば、秋に生の桃を手に入れるのは難しいかと思うので、レシピを考案する際には、缶詰を代用いただくことも可能としている。</p> <p>選定後、1月から3月にかけて商品化を行うので、商品化する際に実際の食材が手に入るようであれば、それを使用し、商品化を行っていく。</p> <p>また、レシピコンテストの応募について、加工品でも可とはしているものの、例えば、「桃のジャムを使った」など、一見してどこに本食材を使用したかわからないような作品は原則不可とし、加工品を使用する場合は、原形がわかるような形で使用していただくという枠組みを用意している。</p> <p>キャラクターカードについては、今後の展開はまだ検討中ではあるものの、カードを通じて、子どもたちが楽しみながら岸和田を知ることができるという素晴らしい内容であると感じているので、引き続き市のほうでも考えていきたい。</p>
<p>笹部委員</p>	<p>レシピの材料について、加工品でも可、ただし、原形がわかるものでないといけないという回答をいただいた。そのことについては、資料に記載がなかったため、そういった細かいこともしっかりと周知・徹底する方法を考えていただきたい。</p>

	<p>冒頭、会長から、記念事業については、今年度だけではなく、今後も継続していくことができれば良いというお言葉があったが、私も 100 周年記念事業については、今後につなげていき、岸和田ブランドをつくっていくという形になっていけば良いと考えている。そのあたりの仕組みづくりも引き続き検討いただきたい。</p>
永野会長	<p>レシピコンテストについて、書類だけで審査するのは、予備審査と一次審査であり、実際に食して審査をするのが最終審査という認識で良いか。</p>
事務局	<p>お見込みのとおりである。</p>
永野会長	<p>きしめしグランプリの選定にあたっては、本実行委員会の委員の皆さんに何かしらの方法で関わっていただきたいと思っているので、その際にご協力願いたい。</p>
事務局	<p>きしめしグランプリに関しては、100 周年記念事業のクロージングイベントに位置付けている。これまでの会議においても、実行委員会の委員の皆様を巻き込みたいと申し上げてきた。</p> <p>例えば、本事業においては、一次審査で選定された作品を実行委員の皆様へ試食いただくことでご参加いただけないかと考えている。また、委託事業者の構成員に株式会社テレビ岸和田様も入っておられるため、試食の様子を取材いただくことも交渉次第では可能かと考えている。そのような映像は、レシピを考案した子どもたちにとってもうれしいことかと思う。</p> <p>これらについては、まだ検討段階ではあるが、そういった点も発信できるよう委託事業者と引き続き協議・調整させていただく。</p>
ジェイコムウエスト	<p>一次審査においても、撮影し、プロモーションを図ることを予定しているため、フードスタイリストの川崎利栄氏に加わっていただき、実際に商品を作っていただく機会を設けたいと考えている。この内容を少し拡充し、実行委員の皆様にも試食いただき、審査にも加わっていただくような仕組みを考えていきたい。皆様の力を借りながら進めてまいりたいので、ご協力願いたい。</p> <p>また、クロージングイベント時の最終審査に関しては、永野会長、中井副会長、西田副会長にも審査員になっていただきたいと考えているため、こちらも併せてご協力いただきたい。</p>
永野会長	<p>私や中井副会長、西田副会長も最終審査員として参加させていただくが、非常に荷が重いので、ぜひ実行委員の皆様にも可能な限りご参画いただくようお願いしたい。</p> <p>それらの詳細については、まだまだ詰めていかないといけない部分もあるかと思うが、引き続き事務局に一任してよろしいか。</p>

委員一同	異議なし
永野会長	<p>それでは事務局にて引き続き進めるようお願いしたい。</p> <p>また、カードゲームについて笹部委員から今後も活用されたいというご提案があったが、事務局からは、今後のことはまだ決まっていないという話であった。私自身、こういったカードゲームのようなにぎわいを創出するようなものは、市がいつまでも持っていてはうまくいかないものであると思っている。また、本実行委員会も 100 周年記念事業の終了とともに解散してしまうため、例えば、100 周年記念事業が終了する際に、実行委員会に所属している団体やそのほかに引き受けてくれる民間団体などに移管することも検討していきたいと思う。その後は、移管先においてさらにブラッシュアップし、楽しいものに変えていただけるかと思う。</p>
事務局	<p><u>4. その他</u></p> <p>前回の第 6 回実行委員会において、井上委員より、実施された事業における参加者等の効果報告について、ご意見を頂戴した。</p> <p>協賛事業または冠事業においては、事業採択または承認を受けた実施団体に対し、事業終了次第、報告書の提出するよう案内しているところである。</p> <p>本日は、既に実施された事業について、既に提出された報告書を一例として報告する。</p> <p style="text-align: center;">資料に基づき説明</p> <p>協賛事業または冠事業については、すべての実施団体より報告書が提出される。また、令和 5 年度には市制施行 100 周年記念事業の実績報告等をまとめた、記録誌を作成する予定となっているので、事業効果等の実施事業の詳細な事項については、改めて記録誌等を通じて委員の皆様へご報告させていただく。</p> <p style="text-align: center;">説明後、質疑応答</p>
中川委員	<p>記録誌を作成するという話があったが、現在作成中の記念誌とは別物という認識で良いか。また、記念誌などは何部ぐらい発行し、こういった形で市民の目に触れるようになるのかご教示いただきたい。</p>
事務局	<p>記念誌と記録誌は別物であるという認識で間違いない。記念誌は、過去の歴史や市が誕生してからので出来事をまとめたようなものである。一方で、記録誌は、実行委員会事業や協賛事業な</p>

	<p>ど、100周年記念事業として実施されたものを記録に残すものである。</p> <p>また、部数に関して、記念誌は3,000部作成すると伺っている。時代の変遷もあり、市民一人ひとりに配付するというのは難しいため、デジタル版として市ホームページに公開し、市民の皆様に見ていただきたいと考えている。なお、販売はせず、図書館や学校などの公共施設に配架することを予定している。また、記録誌に関しても同様の考え方であり、部数についても記念誌より少なくなると思っている。しかし、記録誌に関してもデジタル版を作成する予定であるため、市ホームページにおいて市民の皆様にも見ていただけるような形で進めていく予定である。</p> <p>南海浪切ホールにて、11月26日（土）に「見つめよう未来～青少年の健やかな成長を～」と題して100周年記念協賛事業を実施する。</p> <p>協賛事業ということで、市民の皆様を対象にしたものであり、岸和田市立桜台中学校合唱部による「青少年指導員のうた」の歌唱や岸和田市内各高校ダンス部協力による、ダンスパフォーマンスを予定している。また、川崎亜沙美氏をお招きしての講演会も開催する。</p> <p>さらに、岸和田市PTA協議会、岸和田市こども会育成連絡協議会、岸和田市青年団協議会の市内各育成団体にもご協力いただき、輪投げや型抜きなどの子ども向けイベントも予定している。</p> <p>最後に、岸和田市町会連合会様はじめ、各種団体の皆様にもご寄附いただいたことをこの場をお借りしてお礼申し上げます。</p>
竹代委員	
永野会長	<p>60周年お祝い申し上げます。岸和田らしい事業であると思うので非常に楽しみにしている。</p>
笹部委員	<p>平素から当協議会の事業についてご協力いただき感謝申し上げます。また、岸和田市青少年指導員協議会の竹代委員にもご協賛いただき、併せて感謝申し上げます。</p> <p>本実行委員会に所属させていただき、様々なつながりができ、事業を実施する際にもご協力いただき、本当にありがたいと感じているところであり、本事業についても、岸和田商工会議所様や株式会社テレビ岸和田様、ラチオきしわだ様、岸和田市などに後援いただき、協賛事業を実施させていただく。</p> <p>本事業は、10月30日（日）に10時から18時半まで、スポーツイベントやステージショー、キッチンカーなど、様々なイベントを実施する。また、18時から約20分間550発の花火が打ち上がる。今回は、「市民一人ひとりが自分たちの手で上げる未来花火」ということをコンセプトに企画させていただいた。チラシのQRコードからご寄附いただくこともあり、非常にありがたく感じているところである。打ち上げ場所から離れていたとしても岸和田市内であれば少し見えるかと思うので、ぜひご覧いただき、花火を見て、岸和田市市制施行100周年をみんなでお祝いしたいと思う。</p>

永野会長	<p>本当に素晴らしい事業であり、市民一人ひとりの想いで事業を拡大していこうという企画は素晴らしいと思う。蜻蛉池公園周辺で花火を打ち上げるというのは初めての試みで、一般社団法人 岸和田シティプロモーション推進協議会の皆さんが、ご尽力させていることに心から敬意を表する。</p> <p>このように今までやっていなかったことを一つひとつ実施していくことによって、岸和田のレガシイになっていくと思っているので、大変かと思うが開催に向け、頑張ってください。</p> <p><u>4. 閉会</u></p>
事務局	<p style="text-align: center;">《事務連絡》</p>
中井副会長	<p>冒頭、永野会長からレガシイを残してほしいという話があった。</p> <p>岸和田市は昔、生け花やお茶、謡いなど、文化の香りが非常に高い市であった。先ほど、岸和田城 EXPO において、八陣の庭を活用しての竹あかりの話があったが、私の幼少期には、岸和田市に華道の家元があり、八陣の庭を舞台に見立て、花を生けたことがあった。時代の変遷に伴い、薄れつつあるが、岸和田市はそのような文化を持った市である。</p> <p>100 周年記念事業においては、行政で打ち上げることができなくなった花火を一般社団法人岸和田シティプロモーション推進協議会のような団体が実施したり、船で帆船の体験をするといったような多くの新たな取組が実施されている。先ほどのレシピコンテストもなかなかおもしろいアイデアであり、今後も様々なイベントに活用できるかと思う。また、岸和田商工会議所も 100 周年記念事業としてロボットコンテストを開催する。</p> <p>各市町村でもまちおこしのために様々な取組をされているが、B 級グルメを競う「B-1 グランプリ」もこのような数あるイベントの中から生まれ、継続されることにより全国区になった。岸和田市においても継続的に実施できる事業を残していただき、それが新しい岸和田の文化になるようお願いしたい。</p> <p>委員の皆様がここ一年かけてご尽力いただいたことが永遠に残るようにものになればうれしい限りである。ぜひ今年度末まで全員で頑張っていきたいと思う。</p> <p style="text-align: center;">《解散》</p> <p style="text-align: right;">以上</p>